

情勢報告（平成27年9月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

集落営農組織“エコファーム鳥の巣”が年次総会を開催



今後の運営について
熱心に討議

8月29日、佐川町の主要な集落営農組織“エコファーム鳥の巣”が総会を開催しました。当日は組合員18名中13名が出席し、平成26年度活動実績や27年度活動計画などについて熱心な討議が行われました。

27年度の活動では組織の経営安定を主眼に、学校給食やふるさと納税返礼品への供給、全国食味コンクール参加に向けた取り組み等、米の販売価格維持に向けた活動を行うこととしました。

普及所では今後も組織育成、経営安定のため、“エコファーム鳥の巣”をはじめとした集落営農組織の活動を支援していきます。

新規就農者への営農支援 ～ 新規就農者の現地確認を実施 ～



現地確認および
就農者との協議

当普及所では、8月18日から6日間、佐川町ならびに越知町、JAコスモスと合同で佐川町および越知町の新規就農者24名のほ場巡回と営農状況の確認・支援を行いました。

新規就農者からは、農作物の生育状況等を確認しながら、栽培状況や経営状況等の問題点について説明があり、計画通りに栽培できている農家や病害虫被害や天候のため収量目標や面積拡大が達成できていない農家の状況、希望に沿った農地が見つからない等の現状や悩みが確認できました。

普及所では今後も、関係機関と協力して新規就農者の営農定着に向けた支援をしていきます。

低コスト緩効性肥料で労力と肥料費を軽減 ～リン酸集積ほ場で低リン酸肥料を活用～



ニラハウスでの現地検討会

9月2日、JAコスモスニラ生産部の現地検討会が開催され、生産者や関係機関から16名が参加しました。

管内では、連作により土壌中のリン酸過剰のハウスが増えてきたため、リン酸を減肥した低コスト緩効性肥料の実証ほを設置しています。普及所から実証ほの土壌分析結果に基づく肥効のデータを説明した後、生育状況を確認しました。担当農家からは「葉色が濃く生育も良い。追肥の回数が少なくて楽になった。」と感想がありました。

普及所では、引き続き、土壌分析結果に基づいた肥培管理を指導するとともに、収量調査等により効果を確認していきます。

JAコスモスハウス園芸部通常総会において環境制御技術を推進



環境制御でのメリット、
デメリットについて説明

9月3日、JAコスモス日高支所で平成26年度ハウス園芸部通常総会が開催され20戸が出席しました。

普及所からは、環境制御技術について、施設内の炭酸ガス濃度の変化や炭酸ガス施用による増収効果についての報告しました。

大玉トマトでは生育が良好になり増収効果が期待できることや、高糖度トマトでは春先に果実が急激に肥大し糖度が下がるという課題があることを説明しました。

現在、当普及所管内での炭酸ガス施用機器の導入は多くはありませんが、今後技術的な課題を整理し、他産地の試験結果などを参考に環境制御技術の普及を図っていきます。

加工用わさび生産の振興に取り組んでいます ～加工用わさび栽培講習会in吾北～



栽培講習会の状況

9月11日、J Aコスモス吾北支所主催で加工用わさび栽培講習会が開催されました。高吾普及所管内からは、越知町、佐川町の新規栽培者とJ A職員、地元行政職員の参加があり、目標出荷量、苗の配布時期、肥料や農薬、マルチなど栽培に係る生産資材、季節風対策、病虫害防除などについて、注意点を確認しました。

普及所では、中山間地域農業の振興策の一つとして、今後、関係機関と連携し新規栽培者の目標出荷量達成を支援していきます。

今年もいよいよ！ 佐川町特産の新高梨目慣らし会を開催



今年の新高の「でき」はどうだろう？

佐川町特産の新高梨の出荷時期検討会が、J Aコスモス佐川支所梨部会が9月16日、黒岩梨出荷組合が19日に開催され、組合員合計27名が参加しました。

各生産者が新高梨を持ち寄り、果形や病虫害被害等の外観による等級判定基準の確認、果実糖度や肉質を調査し、過去の測定値との比較などから、出荷時期を検討しました。

その結果、糖度はほぼ平年並みで甘く、果肉は同時期に比べやや柔らかいことから、平年より1週間ほど早く収穫が可能と判断し、出荷始めを9月28日頃からと決定しました。

普及所では、果実の品質調査や栽培指導を通じ、新高梨の生産振興を支援していきます。

仁淀川流域から6次産業化を推進！～J Aコスモスの緑茶を県内量販店へ売り込み～



お茶はこう淹れると美味しくなります。

9月17日、J Aコスモスでは県の6次産業化推進事業を活用し、(株)土佐山田ショッピングセンター社長をはじめ6名を対象に、仁淀川町の茶園視察や緑茶の淹れかたの勉強会・試飲会を開催しました。これは、同社が、10月10日に茶講座を開催するため、同社社員の緑茶知識の習得を目的に行いました。

茶園視察では、急傾斜地で栽培されていることに驚き、正しい淹れかたではお茶が甘くすっきりとなることや6茶種の試飲では味の違いを実感し、参加者の茶の知識の増進に繋がりました。

普及所では、茶の生産・販売振興のため、これからもJ Aコスモスの販売活動を支援していきます。